

令和8年1月28日

## 共同生活援助あつぷ 地域連携推進会議議事録

### 1.日 時

令和8年1月28日(水) 13:30~14:30

### 2.場 所

多機能型障がい福祉サービス事業所あつぷ(共同生活援助あつぷ内)

### 3.住 所

沖縄県沖縄市松本3丁目17番7号

### 4.出 席 者(構成員の紹介)

- ①利用者 平良 辰徳 (共同生活援助あつぷ利用者)
- ②親族 新垣(叔母) (共同生活援助あつぷ家族)
- ③地域の関係者 川井田 聖子様 (松本自治会の会長)
- ④福祉の知見者 新里 千夏様 (介護支援センター中部 相談支援専門員)
- ⑤経営の知見者 仲西 和樹 (相談支援事業所メルシー代表)
- ⑥法人代表 安慶名 勝彦 (代表取締役)
- ⑦事業所 玉城 篤 (共同生活援助あつぷ 管理者)
- ⑧事業所 金城 智江美 (共同生活援助あつぷ 世話人)

### 5.管理者あいさつ

・今年度から義務化になったこの会議に委員就任及び会議参加に感謝します。施設の透明性担保のためにも大切であり、事業所内訪問も年1回はお願いしますが、忌憚のない意見をお願いし、より良い地域に信頼される事業所づくりにしていきたいと思っています。

### 6.施設見学(共同生活援助あつぷ)

### 7.議 題

- ①共同生活援助あつぷの概要 (管理者:説明)

・利用者の状況 (定員・料金体系:別紙グループホームあつぷ事業概要説明)

・利用者の生活状況説明 (別紙 世話人会議:別紙グループホームあつぷ事業概要明)

- ・利用者の障害について（別紙 世話人会議：別紙グループホームあつが事業概要明）
- ・組織体制（職員配置）（別紙 勤務形態一覧表）
- ・「虐待防止委員会・身体拘束委員会」「研修委員会」「BCP委員会」と3つの委員会を設け、運営基準とサービスの質を担保している。
- ・BCP（業務継続計画）の策定状況について

②事業内容（サービスの透明性・質の確保・権利擁護）

- 地域連携推進会議の目的：事業所と地域との連携による
- ・利用者と地域との関係づくり
- ・地域の方々への施設や利用者に関する理解の促進
- ・サービスの透明性・質の確保

④利用者の権利擁護を目的に、事業所が設置する外部の目を入れた会議

- ・経営状況の報告（収支バランス）

## 8.議事

<共同生活援助あつが概要について質疑>

○経営の知見者よりの質問財務方針・資金計画に関する質問

・「収入源の多様化について、どのような検討を行っていますか」

回答 「本会議では、地域課題の解決と持続可能な地域づくりを目的に、3年間を一区切りとした中期目標を設定しております。具体的には、契約人数の安定といった重点項目を掲げ、毎年度の実施計画に落とし込んで進捗管理を行っています。」

<共同生活援助あつがの事業内容についての質疑>

質問例：「共同生活援助の事業内容をどのように位置づけていますか」

回答：「利用者が地域で安心して暮らし続けられるよう、生活支援・健康管理・社会参加の促進を中心に支援を行っています。個々のニーズに応じた自立支援を重視し、地域とのつながりを保ちながら、生活の質を高めることを事業の基本方針としています。」

①日常生活の小さな達成（ADL・生活リズムの安定）②人との関わりでの成功（コミュニケーション・対人関係）③自分で選ぶ・決める経験（意思決定の成功）を自立性・社会性をしっかりと学びや出来ることを増やし十数名の一人暮らしを実現できています。

以上